

北海道新ひだか町
みついし昆布温泉 蔵三
宿泊棟

宿泊施設の機能性と演出性を両立させるには? シーリングとダウンライトの併用によって、 客室の相反する要望に応えました。

町営の温泉宿泊施設という性格上、利用者にはご年配の方も多いため、客室には何より明るさが求められました。ただし宿泊施設としてのムードを求めるお客さまももちろんいらっしゃいます。そこで一つの部屋にシーリングライトとコンパクト形蛍光灯ランプダウンライトを設置し、明るさを求める方にはシーリングライトを点けていただくことで十分な明るさを、ムードを求める方にはダウンライトの点灯のみでも支障がない明るさを出すようにしました。シーリングライトは非点灯の状態でも邪魔にならないようなデザインのものを取付けています。お施様は見た目を重視されていたので、照明についても重要視されていました。施工の仕上げなどにもかなり気を遣いましたね。



施工担当者：
(株)新興電気 静内支店 取締役工事部長
鈴木 正春さん



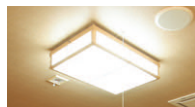
これで解決!
洋室(1)

スクエアランプ搭載器具
“ネオスリムVスクエア”で隅々まで明るく



これで解決!
和室

FL20W×5灯用和風器具で
すっきりとした天井面を実現



これで解決!
洋室(2)

調光可能な
白熱ブラケットで
落ち着いた演出



■施工物件 みついし昆布温泉 蔵三 宿泊棟

■施設の概要

所在地：日高郡新ひだか町三石舞舞162

延床面積：704.4㎡

構造・規模：RC造・地上2階建

施工/電気：(株)新興電気

竣工：平成18年7月

